

もしも、もしも、もしも、 …のときは… まず、救護

「怖くなって逃げた」

消防の救急隊員が、軽トラックに追突し、逃走
警察の事情聴取を受けていましたが職場に報告していなかった
罰金25万円 停職2カ月、その後退職願提出

◇もしも、もしも、もしも、…のときは…まず、救護◇

2019/10/1(火) 20:50

某市の消防署の男性救急隊員（52）が、自家用車で人身事故を起こし現場から逃げていたことが分かり、市は、この隊員を停職処分としました。1日付けで退職を願い出ています。消防隊員は4日後から警察の事情聴取を受けていましたが職場に報告しておらず、市は被害者の知人からの問い合わせで初めて事態を把握したということです。救急隊員は、罰金15万円の略式命令を受けていて、「怖くなって逃げた。救急隊員でありながら大変申し訳ない」と話しています。

酒気帯びの車が追突 5台絡む玉突き事故

◇違反だと…分かってやってる、『飲酒運転』 「飲酒運転は事故でなく犯罪」◇

2019/10/1(火) 19:40

1日午前7時すぎ、東京都で、20代の男性が酒気帯び運転で前の車に追突し、車5台が絡む玉突き事故になった。警視庁は、道路交通法違反の疑いで男性から事情を聴き、くわしい事故原因を調べている。

早朝5時 普段から善意で道路の動物の死骸を 片付けていた？

軽トラにはねられ男性死亡

◇わき見は厳禁、100%運転に集中しましょう◇

◇「かもしれない」運転で、事故防止◇

2019.09.12 11:58

12日午前5時半ごろ、熊本県の国道で、道路の中央線付近にいた無職の男性（56）が、軽トラックにはねられ死亡しました。警察によりますと、男性は普段から動物の死骸を善意で片付けていたそうで、現場付近にはネコの死骸やほうき・ちり取りなどがあったことから、道路上のネコの死骸を片付けていてはねられた可能性が高いということです。警察は軽トラックを運転していた男性会社員（67）に話を聞くなど事故の原因を調べています